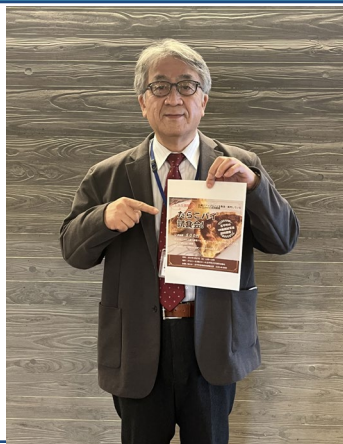


## 03 観光・情報発信

---

## 基本情報



【年 齢】  
67歳  
【出身地】  
北海道札幌市  
【転出元】  
北海道札幌市  
【前 職】  
大学教授  
【活動時期】  
R5.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

大学を定年退職をするタイミングで、これまで研究してきた「地域社会学」「民俗学」「観光学」の知見を、地域振興の現場で役立てたかったから。学際的視野を持ちつつ、地域住民や地域外の人材が「地域人」(community innovators)として、地域振興に主体的に参加し、内発的な力によって地域を発展に導く「古平学」を構築することを最終的な目標に据え、日々、様々な地域課題の解決に取り組んでいきたいと考えている。

## 今後の抱負・任期後の目標

- ・地域の魅力を発見・再認識するための「フットパス事業」、記憶遺産を掘り起こし資源化するための「ヘリテージ・ツーリズム事業」を行う。
- ・「古平町民俗資料室」を拠点とした、地域の特産品の開発とブランディング、有形・無形の民俗資料の収集・調査・展示・研究を進め、文化財の保存・継承と利活用を実践する。
- ・地域活動の滞在拠点として、民泊「じもつFURUIRA」の効果的マネジメントを進める。

## 活動内容

### ●文学フットパス事業&ヘリテージ・ツーリズム事業

- ・古平町が誇る詩人「吉田一穂」関連資料の収集・整理(民俗資料室・文献調査・小樽文学館・碑石調査等)とデジタル化を行った。
- ・古平町の旧稲倉石鉱山跡地の踏査・関連資料の収集と電子化、鉱山関係者へのヒアリングを行った。



### ●神社例大祭の支援活動

- ・古平町の有望な観光対象である琴平神社例大祭の保存と継承のために、クラウドファンディング事業を行った。
- ・町内にある恵比須神社の支援活動も行っている。
- ・古平町の有望な観光対象である琴平神社例大祭の保存と継承のために、クラウドファンディング事業を行った(「地域おこし協力隊クラウドファンディングアワード2024」において「事業・文化継承部門賞」を受賞)。



### ●民泊「じもつFURUBIRA」の開業&たらこパイ開発

- ・地域課題としての空き家の利活用や、今後の地域活動の拠点とするため民泊事業を開始した。  
<https://jimotto-furubira.com/>
- ・地域の特産品である「たらこ」を使ったパイ製品(たらこパイ)の製造を委託し、町内2店舗で販売した。



## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス(個人or職場)) morimasato1063@gmail.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
([https://www.instagram.com/masato1859/?locale=ja\\_JP](https://www.instagram.com/masato1859/?locale=ja_JP))

## 基本情報



【年 齢】  
62歳  
【出身地】  
北海道標津郡  
【転出元】  
神奈川県 座間市  
【前 職】  
警察官  
【活動時期】  
R6.5～（7か月目）

## 協力隊に応募したきっかけ

神奈川県警察官の退職を機会に、生まれた北海道で生活したいと北海道での仕事を探していたところ、父親の実家である中標津町で地域おこし協力隊の募集を見つけました。  
趣味が旅行で、観光関係にも興味があり応募したことから、現在に至っています。

## 今後の抱負・任期後の目標

小学校が釧路だったので、中標津町には何度も遊びに来ていました。幼少時の思い出も多く大好きな町です。  
人と話すことが好きなので、人との輪を広げて観光活動やイベントなどを通じて、中標津町の自然や住みよさを町内外の人達に発信していきたいと思っています。

## 活動内容

### ●ライダーズミーティング開催

中標津町の開陽台はライダーの聖地であり毎年ライダーズミーティングを開催していますが、今年度は開陽台が工事のため旧滑走路（ゆめの森公園）で開催となりライダーだけではなく町内の人々も楽しんでもらおうと大規模で開催し多くの人に喜んでいただきメディアにも取り上げられました。  
SNS「Instagram」「Facebook」やポスターを活用し、広範囲に呼びかけをしました。



### ●ホテルポールスター札幌での中標津町観光物産展

「牛乳で乾杯条例10周年記念事業」として、中標津町牛乳消費拡大推進委員会主催の物販に中標津観光協会として参加させていただき、観光協会オリジナル商品や牛乳、チーズ、ソーセージなど中標津町の特産品をPR販売しながら観光案内をしました。



## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
（メールアドレス）shiraishi@kaiyoudai.jp  
（電話番号）0153-77-9733（なかしべつ観光協会）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
（Instagram）[https://www.instagram.com/kaiyoudai\\_official](https://www.instagram.com/kaiyoudai_official)



KAIYODAI\_OFFICIAL

## 基本情報



【年 齢】  
70歳  
【出身地】  
東京都北区  
【転出元】  
神奈川県川崎市  
【前 職】  
株式会社電通  
【活動時期】  
R2.1～R6.12

## 協力隊に応募したきっかけ

涌谷町との関わりは、平成29年から令和元年に至る「金」をテーマとした日本遺産の申請アドバイザー契約に始まり、その間涌谷町が有する誇りある地誌の魅力に惹かれたから。

そして、42年に亘る前職にて知得した思考力、体得した実践力、築いた人的ネットワーク、そして培った所作・振る舞いを基に、自ら認定に努めた日本遺産「みちのくGOLD浪漫」の価値と意義を伝承し、関係人口の増大を図ることによりエリアの活性に寄与したい、と応募するに至った。

## 今後の抱負・任期後の目標

- ①1300年に亘るわが国産金の歴史文化の記憶を掘り起こし、次代を担う人材に向けて地域の誇りを育むこと。
- ②地域に眠る産金遺跡および砂金採取の可否等を調査し、テーマ高関心度の訪客に向けて観光資源化を図ること。
- ③上記事業を推進し、地域内・外、在日・訪日外国人の関係人口と地域経済の増大を実現すること。

## 活動内容

## ●共通の産金文化を有する市町の拡張

日本遺産「みちのくGOLD浪漫」の現構成6市町（涌谷町・石巻市・南三陸町・気仙沼市・平泉町・陸前高田市）に加え、大船渡市・住田町・一関市の参入を促進し、訪客の多様な旅の目的と周遊のニーズに応える。



## ●日本遺産「みちのくGOLD浪漫」価値の伝導活動

わが国産金文化の意義を伝えるため域内外・主催団体問わず、講演活動を展開する。岩手県一関市市民センター：テーマ“天平産金とその時代”、福島県会津若松市：テーマ“次代へ継承すべきこと”等を実施した。



## ●日本遺産「みちのくGOLD浪漫」ロングトレイル造成

“みちのく潮風トレイル”等既存ルートと整備した金山遺跡を掛け合わせし、オリジナルルートを造成する。気仙沼市唐桑半島ルート、陸前高田市玉山金山遺跡探訪ルートの実績に加え、横展開を推進する。



## 連絡先

## 【メディア等の取材連絡先】

メールアドレス(個人) kyudo.560@gmail.com  
電話番号 (個人) 090-2565-3996

## 【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

Facebook Instagram

## 基本情報



【年 齢】  
43歳  
【出身地】  
宮城県大崎市  
【転出元】  
埼玉県川口市  
【前 職】  
建設コンサルティング企業  
【活動時期】  
R2.9～R7.3  
(任期終了)

## 協力隊に応募したきっかけ

個人旅行中、偶然訪れた田沢湖高原の山荘での管理人夫婦の温かなもてなし、秋田での暮らしや熊についての話、周辺で採れた天然食材を使った滋味豊かな食事、駒ヶ岳山麓のブナ林や田沢湖の豊かな青など、美しい自然と本質的な生活、素敵な人たちに深く胸を打たれ、旅行者では満足できなくなり移住を決意。職探し中に知人経由で協力隊制度を知り、都内での移住フェアやHPで情報収集の上で応募に至りました。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期中を通じて秋田県内を中心に北東北各地を訪れ、それぞれの地域の個性や唯一無二の魅力を知る機会を多くもらいました。その時間を通して蓄積された「北東北」に関する知見や、お会いした方々は大切な宝物です。任期後は、東北地方を引き続き探求しながら、地域について内外の人に知ってもらえるコーディネータのような仕事や、観光の文脈では掬いきれない人・もの・風土の持つ個性的な魅力を深掘りして、広く発信していける仕事をしていきたいと考えています。

## 活動内容

## ●DMO：マーケティング事業

DMO主体で実施している仙北市訪問者・WEBアンケートの分析及びレポート作成。  
単年度ごとの集計分析と過去分との比較レポートを毎年作成し、地域の関係者に共有。課題点の抽出や観光戦略策定などに活用。



## ●観光庁・モデル観光地事業

「雪国の小京都・角館の武家文化」と「雄大な大地の起伏・八幡平の馬文化」海外販路開拓に向けた実証調査事業

八幡平DMOとの連携事業。令和5年度に造成した「角館・武士道ツアー」と八幡平に残る馬文化に関するインバウンド向け調査事業。海外旅行会社2社を招聘しFAMトリップ実施。調査と共に販路開拓を目指している。



## ●秋田の夏酒・試飲ウォーク&amp;夏酒を愉しむタベ

令和5年度に造成した「武家屋敷通りで秋田の地酒を学ぶ体験」からの派生イベント。昼の部は町内の試飲ポイントを巡るスタンプラリー（無料）、夜は料亭を会場に酒造の蔵人のゲストトーク、5種類の地酒のペアリング体験（有料）。JR、秋田清酒と連携。



## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [co-de@city.semboku.akita.jp](mailto:co-de@city.semboku.akita.jp) (交流デザイン課)  
(電話番号) 0187-43-3353 (交流デザイン課)  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】  
仙北市地域おこし協力隊フェイスブック  
<https://www.facebook.com/sembokurashi/>

## 基本情報



【年 齢】  
39歳  
【出身地】  
福島県会津美里町  
【転出元】  
愛知県豊川市  
【前 職】  
営業事務、販売  
【活動時期】  
R2.11～R7.3

## 協力隊に応募したきっかけ

自分が好きな故郷の過疎化に対して何か貢献したかったのと、子育てをするなら故郷のように自然が身近にある環境が良いと考えていました。

夫の転職により地元へ戻ることが可能となり、ちょうどそのとき募集していた活動内容なら自分の能力が活かせるのではと思い応募しました。

【ミッション】地域資源の磨き上げと魅力発信  
(グリーンクラフトツーリズム)

## 今後の抱負・任期後の目標

卒隊後は起業してまちづくりに関わっていく予定です。若い世代もまちづくりに興味を持ち、戻ってきたいと思える町になるように、まずは住んでいる人が“楽しい”、“面白い”と思えることを仕掛けていきたいです。

また、副業でキャンドル作家活動も続け、絵ろうそくとはまた違った、会津ならではのキャンドルを作り出し、会津の新しい魅力を発信できればと思っています。補助金を活用し、工房も構えたいです。

## 活動内容

### ●農業×食の体験

町で盛んな農業に興味を持ってもらえるよう、2年目に農業体験と食を掛け合わせたイベントを実施しました。町の特産品である『高田梅の収穫と伝統料理「梅漬け」づくり』や、『無農薬栽培ブルーベリーの手摘みとジャムづくり』は、翌年も開催希望をいただくほど好評でした。



### ●地域の行事×マルシェ

人通りが少ない商店街やワイナリーへ人を呼び込むため、近隣で開催予定の町のお祭りや町主催イベント開催日に合わせてマルシェを実施しました。なるべく町の人を巻き込み、苦情が出ないように配慮したこともあり、住民の方から活気が戻ったと喜んでいただけ、イベントは町民主体で継続されています。



### ●地域資源×キャンドル

4年目から、地域資源とキャンドルを組み合わせる新たな魅力発信に繋げようと活動中です。果樹栽培が盛んな地域なので、果樹の花や剪定して不要になった枝を使ったキャンドルを制作したり、町の伝統産業である会津本郷焼の窯元とコラボしたキャンドルを制作しています。

卒隊後はキャンドル作家としても活動する予定です。



## 連絡先

### 【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス(個人or職場)) gc.tour.aizumisato@gmail.com

(電話番号(個人or職場)) 0242-55-1171 (役場 政策財政課)

### 【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

[地域の情報発信] Instagram @ooki\_aizumisato

[キャンドル(蝋燭)活動] Instagram @\_hibitoutou\_



## 基本情報



【年 齢】  
29歳  
【出身地】  
福島県富岡町  
【転出元】  
東京都  
【前 職】  
隈研吾建築都市設計事務所  
【活動時期】  
R6.8月～

## 協力隊に応募したきっかけ

南相馬市は千年の歴史を持つ「相馬野馬追」という祭りがあり、馬と人が共に暮らす貴重な地域です。私は大学院で南相馬市における馬と人の関係性をテーマにまちづくりの設計提案を行いました。その研究を通じて南相馬市の歴史や地形の変遷を巡り、この地域の魅力を再発見することができました。大学卒業後、建築設計事務所での相双地区の建築設計に携わる機会があり、震災から10年以上経った今でも復興計画が続いている現状を知りました。この経験をきっかけに、南相馬市の「起業型地域おこし協力隊」の一員として建築業界で得た知識や視点を活かし、相双地区や浜通りの地方創生に貢献できる事業に取り組みたいと考えるようになりました。

## 今後の抱負・任期後の目標

南相馬市では祭りの3日間だけ観光客が押し寄せ、宿泊施設が十分でないことから観光客が「泊まりたくても泊まらない」潜在的な課題を抱えています。そこで欲しいときに1室増えるような仕組みをキャンピングカーによってつくります。また、キャンピングカーは公共交通機関ではアクセスが難しい地方の魅力的な観光地を訪れるのにも適しています。このようにキャンピングカーによって宿泊・移動・観光が繋がり、南相馬市での新たな旅行体験として広くPRすることで、新たな観光客の獲得や観光産業の発展に寄与することを目指します。

## 活動内容

### ●旅行業・レンタカー業

令和6年度の国内旅行業務取扱管理者試験に合格したので、令和7年度の旅行業開業を予定しています。南相馬市の観光スポットや独自の体験をインバウンドやアウトドア愛好者に向けて発信し、観光客の増加を図ります。また、所有するキャンピングカーをレンタルし、福島県浜通り地域の新たな旅行の選択肢を提供し、訪れる方が地域の魅力を自由に楽しめる環境を整えたいと考えています。



### ●RVパーク設置コンサル

南相馬市を含む福島県浜通りでは震災以降キャンプ場や宿泊施設が不足しており、海と山が近い地形を活かしたロードトリップ需要に対応できていません。この課題を解決するため、各町にRVパークを整備し、自由に地域を巡る「広域地方旅行」を推進し、浜通りの観光ブランディングを図ります。また、宿泊できるからこそ生まれる新しい観光コンテンツの造成にも力を入れていきます。



### ●インバウンド向け観光情報発信

南相馬市はまだまだ知られざる魅力がたくさんある街です。その知られていないからこそその価値を最大限利用するべく、インバウンドに向けて発信していきます。祭りがあることで現代にも残る国内有数の馬事文化や古墳、石仏などの歴史的な観光スポットから、新たな酒造りのホットスポットまで、様々な南相馬市の魅力を発信していきます。



## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) kusaka@rinctrip.jp  
(電話番号) 0244-26-4665

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Instagram) @REGION\_TRAVEL\_JAPAN

@REGION TRAVEL JAPAN



## 基本情報



【年 齢】  
37歳  
【出身地】  
長野県飯田市  
【転出元】  
東京都豊島区  
【前 職】  
TVディレクター  
主夫  
【活動時期】  
R.2.4～ R7.3  
(5年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

- 1、大学で建築・まちづくりを専攻
- 2、同時に自転車ツーリングサークルにも所属
- 3、テレビ制作で地域の魅力を紹介する番組を制作  
(東北エリア)

以上3つやこれまでの経験がすべて生かせる仕事だったこと、また家族ができて働き方などを考え直している時期だったので模索できる時間になると考えました。

## 今後の抱負・任期後の目標

延長1年目、協力隊は5年目となりました。昨年3月に法人を立ち上げ、定住に向けての取組を一步進めました。自転車事業は市の方針に合わせ、市民向けの自主イベント開発や自転車教室など、市内で気軽に乗れる取組を加速させていきたいです。任期後に向けて自転車事業だけではなく、協力隊業務の傍ら、地域コーディネーターや中間支援組織運営など「ローカルでの仕事」のチャンネルを増やし、稲敷を中心に「県南・チバラキ・霞ヶ浦エリア」で活躍できる取組を進めています。

## 活動内容

## ●稲敷市自転車PR事業「イナシキライド」の推進

稲敷市の自転車事業を共通のイメージにするために「イナシキライド」というタイトルでブランディングを行いました。  
ツアー、レンタサイクル、サイクルサポートステーション、MAPなどのグッズ展開に関わり、PR動画制作も監修しました。



## ●サイクリスト向け住宅提案事業

茨城県事業「過疎地地域インターン促進事業」を活用した取組。

稲敷市内企業（井川建築設計事務所）に地域と縁のない大学生2名をマッチングし1ヶ月間住み込みながらサイクリスト向けの「住宅提案ができる設計事務所」となるための営業資料の作成に取り組みました。



## ●まちづくり会社を設立

令和5年3月に、稲敷市民3名（私含めて）で「いなしきむすび合同会社」を設立しました。空き家をリノベーションした拠点施設を運営・管理、貸スペースとシェアキッチン事業を進めています。また、倉庫をサイクルサポートステーションとして活用を目指すなど、定住に向けて仕事づくりをしています。



## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

「メールアドレス（個人）」i10aym@gmail.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

<https://i10aym.wixsite.com/musan>

<https://www.city.inashiki.lg.jp/page/dir009107.html>

## 基本情報



【年 齢】  
37歳  
【出身地】  
台湾高雄市  
【転出元】  
東京都大田区  
【前 職】  
ハイヤー運転手  
【活動時期】  
R6.10～

## 協力隊に応募したきっかけ

私は昔から日本が好きで毎年のように訪日し様々な観光名所を訪れ、日本の自然や文化に魅了され、いつか日本で観光業に携わりたいと考えるようになりました。

2022年に来日し、都内で運転手と観光ガイドとしてハイヤー会社に勤めましたが、都会よりも日本の魅力的な四季や自然を感じられる場所で暮らしたいと思っていたところ、台・日交流のFacebookのグループで渋川市の地域おこし協力隊について知り、自分の実現したい暮らしができるのではないかと考えたことがきっかけです。

## 今後の抱負・任期後の目標

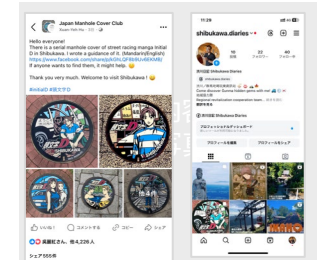
渋川市に移住したばかりなので、伊香保の歴史、渋川の観光資源、知識など色々勉強中です。今後、台湾・世界と日本の懸け橋となり、渋川市の魅力を発見し、世界中に発信し、広めていきたいと思います。

前職の経験を活かして、渋川市のインバウンド観光振興のために貢献したいです。

## 活動内容

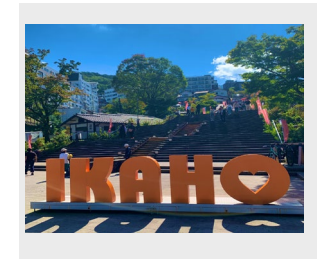
## ●インバウンド向け観光情報発信

中国語・英語を中心にFacebook、X、Instagramで渋川市の観光スポット、観光情報などを発信しています。



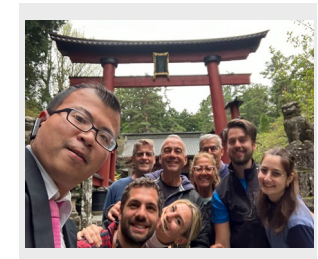
## ●インバウンド向け伊香保温泉石段街ガイド

インバウンド向けに伊香保温泉のメインスポットである「石段街」をガイドできるよう、伊香保温泉の観光ガイドの会の方に研修を依頼し、伊香保の観光スポットや歴史、文化について学んでいます。



## ●インバウンド向け体験観光商品の造成や催行

創作こけしの絵付け体験、フルーツ狩り等、体験を楽しむことができる観光資源が渋川市にはあります。その他にも、外国人目線で楽しめる体験を発掘し、ツアーとして企画していきたいと思っています。



## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス職場) shibukawachiiki@gmail.com

(電話番号個人) 070-9190-0317

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(Facebook) <https://www.facebook.com/shibukawa.diaries>

(Instagram) <https://www.instagram.com/shibukawa.diaries/>

(X) [https://x.com/shibukawa\\_diary](https://x.com/shibukawa_diary)

## 基本情報



【年 齢】  
39歳  
【出身地】  
中国吉林省  
【転出元】  
東京都北区  
【前 職】  
医療通訳  
【活動時期】  
R4.5～

## 協力隊に応募したきっかけ

神社・寺院巡りが好きで、友人の案内で香取神宮を訪ねたことがきっかけで佐原地区とご縁ができ、何度も訪ねるうちに、好きな着物が似合う街並みが大好きになりました。さらに香取市はじめ北総エリアの自然や歴史にも興味を持ってきたところで、地域おこし協力隊隊員募集を知り、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

香取市の歴史や文化を国内外へ発信していきたいと思っています。インバウンドの復活、具体的に企画して都内や海外から人を呼び込み、香取市ファンを増やしたいと思っています。さらには企業誘致なども積極的に取り組んでいます。香取市や北総エリアの魅力を発信、内外のネットワークを活用して観光客を誘致して関係人口を増やし古民家再生から移住者に繋げ、我が故郷香取市となるような地域の活性化に繋がっていきたくてと思っています。

## 活動内容

### ●着物で町並み散策

小野川沿いの街並みはまさに着物の似合う小江戸風景。内外からのゲストに着付けをして着物の魅力を感じていただきながら街歩き。テンション上がって見えてくる風景はいつもよりさらに美しく感じます。皆んなで写真とってSNSに配信。カフェやランチも美味しくいただきました。



### ●地元食材を使って、観光客向け料理教室の開催

香取市はとにかく農産物が豊富です。その新鮮な地元の食材を使って、農家の方の顔が見える安心で安全な料理教室。地域で昔から作っている伝統料理から新しい発想の創作料理まで、観光客にも人気で皆んなでワイワイ楽しく作って、お腹いっぱいいただきました。



### ●古民家再生

香取市の小見川地区にある築近100年の古民家の再生プロジェクトスタート！前面には田園風景が広がり、後ろには城址の竹林を抱える歴史ある集落の古民家です。敷地内に作業場や蔵もあり宿泊から文化イベントまで様々な企画や活用も可能で完成が楽しみです。



## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】香取市商工観光課  
(メールアドレス) kanko@city.katori.lg.jp  
(電話番号) 0478-50-1212

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
<https://www.facebook.com/katori.kyoryoku>



## 基本情報



【年 齢】  
51歳  
【出身地】  
神奈川県横浜市  
【転出元】  
神奈川県相模原市  
【前 職】  
調理員  
【活動時期】  
R4.4～R7.3

## 協力隊に応募したきっかけ

自然豊かな環境で、新鮮で美味しい野菜が身近にあるところで、食の提供をしたいと思っていました。  
様々な人と繋がれる、地域おこし協力隊の制度を知り応募いたしました。

## 今後の抱負・任期後の目標

今年度で任期終了なので、いすみ鉄道や地域に恩返しできる活動をしていきたいです。  
退任後は、野菜作りや、地域に伝わる郷土料理などを学び、食に携わることで起業を目指します。

## 活動内容

### ●鉄道利用促進イベント開催

お客様のご要望をいただき、いすみ鉄道 里山ハイキングin大多喜 第2弾「体験型・プチハイキング」を企画しました。  
いすみ鉄道を利用して、里山を感じながらゆっくりと訪ね歩くハイキングで、竹灯籠製作体験、チーズ工房【千】Sen（モッツアレラチーズ実演販売）、齋藤家/蔵の宿（見学）、きこりおじさんのはちみつ（蜂蜜の食べ比べ）などを体験するハイキングコースで利用促進を図っています。



### ●鉄道利用促進イベント開催

ご好評いただいている、いすみ鉄道 里山ハイキングin大多喜 第3弾「城見ヶ丘コース・体験型ハイキング」を企画しました。  
いすみ鉄道を利用して、大多喜町内の隠れたスポットをゆっくりと訪ね歩くハイキングで、SCOOP FARM（野菜収穫体験）、農園食堂andカフェ膳所（ランチ）、然 ZEN（本藍染めのお話と見学）、大多喜ハーブガーデン（マルシェ）などを体験するハイキングコースで利用促進を図っています。



### ●「いすみ鉄道で行く！貝の宝石づくり体験」イベント開催

学童保育に通う児童を対象に「いすみ鉄道で行く！貝の宝石づくり体験」を企画しました。  
町内の小学生に、地元を走るいすみ鉄道をもっと知ってもらいたい、もっと好きになってもらいたい、もっと乗ってもらいたいという思いから、夏休みの校外学習として、いすみ鉄道に乗りいただきました。  
いすみ鉄道と地域を繋ぐ、利用促進を目指しています。



## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
（メールアドレス(職場)）大多喜町役場企画課地域交通係  
[kotsu@town.otaki.lg.jp](mailto:kotsu@town.otaki.lg.jp)  
（電話番号(職場)）0470-82-2112

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
Instagram/チョイモビ大多喜 @choimobiootaki

## 基本情報



【年 齢】  
45歳  
【出身地】  
新潟県新潟市  
【転出元】  
新潟県長岡市  
【前 職】  
会社員  
【活動時期】  
R6.7～R9.6

## 協力隊に応募したきっかけ

以前より、南魚沼市にある八海山麓スキー場でマウンテンバイクを通じて関わっていたため、20年以上通っている馴染み深い地域です。自然のフィールドを活用したスポーツや地元の特産品を使った食など魅力がたくさんあり、もっと深く知っていききたいと思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後の抱負としては、自転車によるまちづくりを中心に行い、地域のイベント等を立ち上げて、若い人たちや中高年の人たちが交流をもてる場を作りたいと考えています。任期後の目標は若い世代がまちから流出し、高齢化が進んでいるので、スキー場を利用したフィールドスポーツを推進したり、地域に貢献できるような活動に取り組んでいきたいです。

## 活動内容

## ●マウンテンバイクによるまちづくり

夏場のスキー場の活用としてマウンテンバイクを使ったアクティビティを進めていきます。子供から大人まで楽しめるスポーツということでスキー、スノーボードのようなカルチャースポーツにしていきたいです。



## ●イベントを通じて地域の食や文化を発信して行きたい

南魚沼市には地元の方しか知らない料理や食材、イベントやお祭りがありどれも魅力的なもののばかりです。それらを発信して観光や移住に繋げていけるように地域の方と協力して発信して行きたいです。



## ●里山整備で山を綺麗にしてもっと人が入れる里山にしたい

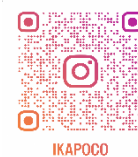
地域の方の高齢化もあり里山の整備が追いつかずに草や木がどんどん生えていってしまっています。整備することでトレッキングやマウンテンバイク等のアクティビティの活用フィールドになります。身近に感じる里山フィールドを作りたいです。



## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス(個人or職場)) sunrocked01@gmail.com  
(電話番号(個人or職場)) 090-2235-1592

instagram



IKAPOCO

FACEBOOK



## 基本情報



【年 齢】  
35歳  
【出身地】  
台湾高雄市  
【転出元】  
東京都杉並区  
【前 職】  
会社員  
(商社で通訳と品質管理)  
【活動時期】  
R5.7～

## 協力隊に応募したきっかけ

高校卒業後に日本留学し、東京で10年以上生活しました。趣味の端唄三味線の先生が新潟市秋葉区出身で、そのご縁で2023年5月に五泉市で田植え体験をし、地域おこし協力隊の募集情報を知りました。きれいな水と自然豊かな環境に惹かれ、地方生活を体験してみたいと思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

移住者の目線から見た五泉市のことをSNSなどを通じてたくさんの人に届けたいです。取材を重ね、五泉市と地域の方々のことをもっと知りたいし、台湾のことも知ってもらいたいです。また、台湾華語、中国語などの語学力を生かして、中華圏の人に発信できればと思います。

## 活動内容

## ●SNS（Facebook、Instagram）を通じて情報発信

協力隊の発信ツールとしてメインで使ってきたFacebookに加え、協力隊員同士で協力隊インスタグラム公式アカウント「五泉ぐらしなう。@gosen\_gurashi」を立ち上げて運用中。日本語の投稿の下に、台湾で使われる繁体字中国語の内容も入れています。



## ●note「【五泉市移住定住支援サイト】五泉にきなせや！」に取材した記事を上げる

移住定住支援サイトとしてのnoteアカウントでも、市内で取材した記事を上げています。お祭りやイベント、文化財巡り、街歩き、温泉…など、五泉市のことを知ってもらうための記事を作成、公開しています。

## ●五泉市の台湾との交流視察に同行

2024年10月、五泉市からの台湾観光経済視察団に同行し、台湾の高雄市と高雄市甲仙区と交流を行いました。



【松城祭 巡行絵巻行列】江戸時代の城下町村松藩ヘタイムスリップ！

## 連絡先

## 【メディア等の取材連絡先】

（メールアドレス）kikaku@city.gosen.lg.jp （電話番号）0250-43-3911

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

（五泉市地域おこし協力隊フェイスブック）

<https://ja-jp.facebook.com/gosen.kyouryokutai/>

（五泉市地域おこし協力隊インスタグラム）

[https://www.instagram.com/gosen\\_gurashi/](https://www.instagram.com/gosen_gurashi/)

（note【五泉市移住定住支援サイト】五泉にきなせや！）

<https://gosen-city.note.jp/>



## 基本情報



【年 齢】  
28歳  
【出身地】  
石川県金沢市  
【転出元】  
石川県金沢市  
【前 職】  
飲食店勤務・フリーカメラマン  
【活動時期】  
R5.4～R7.3

## 協力隊に応募したきっかけ

これまでの経験を活かし、地域活性化に貢献できればと思い応募しました。  
また、子育てのしやすい環境を考えたところ、子育て支援が充実していること、自然が豊かで公園が多いこと、金沢市までのアクセスが良いこと等、全ての環境が整っていた内灘町に移住したいと決めました。

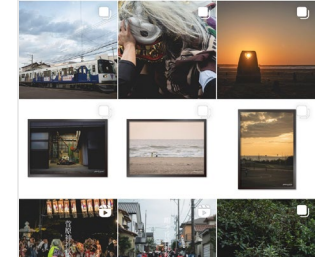
## 今後の抱負・任期後の目標

写真や映像を通して地域住民との交流を深めながら、国内外に内灘町の魅力を発信していきたいと考えています。  
任期後については、カフェの経営を考えており、観光客と町民が気軽に訪れることができる憩いの場を作りたいと考えています。

## 活動内容

### ●情報発信、PR

SNSを活用した内灘町の魅力発信を行っています。  
観光地として有名どころはもちろん、あまり知られていない観光スポットなどを紹介しています。  
また、町や地域のイベント等の撮影も行っており、多くの方々と関わる機会が多いため、学ぶことが沢山ありとても刺激になります！



### ●観光ボランティアガイド

内灘町観光案内所にて、観光案内やレンタサイクルの貸し出しを行っています。  
訪れる方々に満足いただけるよう「おもてなしの心」を大切にしながら日々業務に取り組んでいます。  
内灘町に遊びに来られた際は、みなさんは是非立ち寄ってくださいね！



### ●能登半島地震における活動

内灘町も一部エリアで甚大な被害があり、発災当初は記録として写真を撮影し、その後炊き出しや、災害ボランティアもしました。復興イベントや、募金箱の設置なども行い、継続的に震災への対応を行なっていく予定です。



## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) kawai.utok@gmail.com  
(個人電話番号) 080-4254-9496

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Instagram) <https://www.instagram.com/kawai.utok/>

## 基本情報



【年 齢】  
26歳  
【出身地】  
山梨県南アルプス市  
【転出元】  
東京都板橋区  
【前 職】  
求人広告の営業職  
【活動時期】  
R4.11～R7.10

## 協力隊に応募したきっかけ

大学時代に観光まちづくりを学び、その経験を活かし現場でまちづくりに携わりたい、特に地元の山梨県のまちづくりに貢献をしたいと思い応募しました。前職につきながらぼんやりと上記のようなことを考えていて、挑戦するなら今しかないと思い応募しました。協力隊という仕事の選択肢は大学の教授から教えてもらい、山梨県出身ですが土地勘のない西桂町をあえて選びました。

## 今後の抱負・任期後の目標

現在1年目を終え、地域の方と交流することをメインに活動をおこなってきましたが、2年目以降はより地域の方との交流を深め、地域の魅力をこれまで以上に発信できたいと考えています。以下を目標に活動をおこなう予定です。

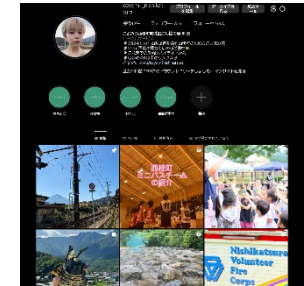
- ・地域の活動を町内の若者にSNSを通して知ってもらい、シビックプライド（郷土愛）を高めること。
- ・三ツ峠山をはじめとした町の「手つかず」の自然の魅力をSNSで発信し、観光客誘致を推進すること。

## 活動内容

## ●SNSをつかった西桂町の魅力発信

主にInstagramを使用して、西桂町を発信しています。発信のテーマは以下の通りです。

- ①西桂町民が町内のことを知るきっかけとなり、シビックプライド（郷土愛）を高める発信。
- ②県内知名度が低い西桂町のことをまずは山梨県民の方、さらには日本全国、世界中の皆さんに知って訪れてもらうきっかけになる発信。



## ●西桂町の「飾らない」魅力発掘

西桂町には、開運の山・三ツ峠山や富士山のふもとの清冽な水、古くから町内で育てられた織物産業（通称・郡内織物）があります。

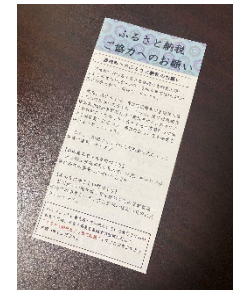
上記の魅力は近隣地域でも存在するものであるため、これらを活かしながら西桂町特有の魅力を掛け合わせていくことが必要だと考えています。その掛け合わせとして地域の方の魅力をそのまま発信するために地域交流を大切に活動しています。



## ●ふるさと納税利用促進活動

西桂町への寄附額は年々上昇の傾向にあります。今後の町の発展のためには、さらなる高みを目指す必要があります。

西桂町への寄附額を上昇させるために、出品して下さっている事業所様の紹介や寄附金が現在どのように活用されているかなどのチラシを作成しています。継続してチラシ作成を行い、定期的に西桂町の「今」を全国の方にお知らせしていく予定です。



## 連絡先

## 【メディア等の取材連絡先】

✉メールアドレス✉ [koyomi.nishikatsura@gmail.com](mailto:koyomi.nishikatsura@gmail.com)

☎電話番号（職場）☎ 0555-25-2121（西桂町役場）

## 【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

活動のSNSはこちらから <https://lit.link/koyom1nishikatsura>

FOLLOW ME



## 基本情報



【年 齢】  
27歳  
【出身地】  
埼玉県本庄市  
【転出元】  
埼玉県本庄市  
【前 職】  
観光業  
【活動時期】  
R5.6～R8.5

## 協力隊に応募したきっかけ

元々学生の時に静岡県三島市に住んでいたこともあり伊豆の国市にはよく訪れておりました。また観光系の学部ということもあり、伊豆長岡温泉で毎月第2日曜日に開催されているマルシェ「お散歩市」に学生団体としてボランティアを行ったり、活動を通して「伊豆長岡温泉の再生に向けた地域資源調査」について大学コンソーシアムにて発表などを実施しました。

伊豆の国市で関わった方々の街をより良くしたいという思いに感銘を受けて今回の応募に至りました。

## 今後の抱負・任期後の目標

地域おこし協力隊としての任期も残すところ一年半となり、伊豆の国市に愛着もわき、地域住民との繋がりも増えていく中で、自分もこの地に腰を据えて事業を行いたいと考えてなっています。  
現在メインで行う業務の宿泊事業のノウハウを活かし自身でも宿泊施設を運営したいと考えています。

## 活動内容

## ●宿泊事業（さかなやステイ）

・令和5年6月30日オープン。  
"まちに泊る"がコンセプトの一棟貸しによる分散型ホテル「さかなやステイ」での業務全般。  
またさかなやステイの駐車場兼多目的スペースである「ミライ広場」を利用したイベントの企画運営等。



## ●伊豆の国市の着地型旅行商品の開発・販売

・地域限定旅行業の登録から、伊豆の国市とそれに隣接する市町村の観光資源の発掘と調査。  
・さかなやステイを宿泊地としたツアーの企画販売。伊豆の国市の交流人口、関係人口を増やす。  
・アーティストや企業など多様な業種に対応したツアーの企画。



## ●地域密着のイベント企画・運営

温泉場のメイン通りで毎月第二日曜日に開催の「お散歩市」の運営。  
伊豆の国市全域の事業者と協力し伊豆の国市を巡る、「まるごと伊豆の国でデジタルスタンプラリー」の企画・運営など。



## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス(職場)) giaizuspa@gmail.com  
(電話番号(職場)) 080-3274-3570  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(伊豆長岡温泉ミライ会議) <https://izuspamirai.com/>  
(さかなやステイInstagram) QRコード



## 基本情報



【年 齢】  
26歳  
【出身地】  
新潟県長岡市  
【転出元】  
神奈川県厚木市  
【前 職】  
設計事務所勤務  
【活動時期】  
R4.12～現在

## 協力隊に応募したきっかけ

湖西市に移住し、今後の展望にもあるゲストハウスの開業に伴い、湖西市の観光について知ること、地域の人に自身の活動を知ってもらいたいと考えていました。その時に、湖西市の地域おこし協力隊（分野：観光PR）の募集を見つけ、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

退任後は、引き続き、観光PRを行っていきたいと考えております。地域おこし協力隊で築いた地域の人との関係性を生かすこと、未だ生かしきれていない観光資源を観光に生かすことを今後の目標とし、観光客誘客に結びつけれたらと考えております。当初はゲストハウス開業を目標に活動を行っていましたが、退任後も継続して、開業に向けて、活動を行えたらと思います。

## 活動内容

### ●SNSでの観光PR

私は観光協会に所属しながら、観光協会のHPの更新、観光協会及び個人のInstagramでの情報発信を行っています。



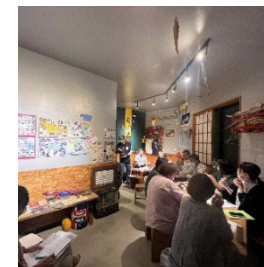
### ●月1での観光情報ペーパーの配布

「地域おこし協力隊ってどんな活動を行っているの？」という問いに着目して、私自身の月1の活動や湖西市内のお店の紹介などが記載された『月刊SATO』という情報ペーパーと観光協会の活動や湖西市の月1のイベント情報が記載された『KOSAI JOURNAL』の情報ペーパー、2つの作成と配布を行っています。現在、湖西市内の約70店舗に配布しております。



### ●まちづくりMAPの作成

湖西市新居町にある「新居町情報発信PRチーム」に所属し、毎年作成している地図の更新とイベントに合わせたMAPの作成をメンバーと共に行っております。



## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
（メールアドレス（個人））tsato.kosaikyoryokutai@gmail.com  
（電話番号（個人））080-6526-7497

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
（Instagram）[https://www.instagram.com/kosai\\_takuma/](https://www.instagram.com/kosai_takuma/)

## 基本情報



【年 齢】

40歳

【出身地】

茨城県水戸市

【転出元】

茨城県水戸市

【前 職】

カフェ経営、イベント運営企画

【活動時期】

R4.6～R7.8

※出産・育児のため3カ月中断

## 協力隊に応募したきっかけ

30代後半になった頃から、今後の人生を改めて考えていました。『自然豊かな環境で新しい土地に貢献しながら自分自身も豊かに生きてい。』という想いに気づき、住むなら海の近くという私と、山が好きな夫。夫婦二人が理想としていた『自然』『伝統』『文化・暮らし』『食』全て揃っている尾鷲市三木里町。

ミッションである『暮らしを守る、新たな持続可能な観光の仕組みづくり』が私のやりたい事にピッタリだと思ったので協力隊に応募しました。三木里町の可能性は無限大だと感じています。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後も自然や伝統文化を活かしながら、小さくてもキラリと光るまちづくりを発展させるため、リユースをはじめとする「5つのR」を推進する活動などに取り組んでいきたいと思っています。少しでも多くの方が、サステナブルこそ三木里の魅力であると自覚することにより、自然保護、文化・伝統の継承、受け入れ体制の向上、そして何より、住民自身の地域への満足度向上に繋がるのではと考えます。何でもokの受け身の観光地ではなく、住民の負担無く問題が少ない“選ばれる旅先”を目指したいと思っています。

任期後は、季節ごとに異なる魅力的な自然を体験することができる三木里の特性を活かし、日常生活から離れて自分と向き合い、ゆったりとした時間を過ごして心と体をリラックスさせる旅のスタイル、リトリートを取り入れた観光の仕組みづくりをしていきたいと思っています。

## 活動内容

## ●巡りサイクルイベント運営企画

三木里巡りサイクル＝社会問題解決型イベント

そっとゆずれる宝物。『誰かのいらない物は誰かの必要なもの』をコンセプトに、ゴミがゴミじゃなくなる、エコで地域を持続可能にしていくイベントの運営企画をしています。三木里は車が通れない場所に住まいがある方も多いため、重いゴミ(粗大ゴミやガラスゴミ)はゴミの日に出せずそのままになっている事が多いと伺い、私と集落支援員さんとタックを組み、高齢者の家を訪問し、不用品の回収、分別後、まだまだ使える物をバザーとして出品して売り上げを小学校の修繕費として寄付しています。

三木里巡りサイクルを令和6年12月1日(日)に開催しました。

## ●アルドくんのビーチクリーンプロジェクト

ボランティア団体『巡りサイクル 海』を立ち上げ、みきさといーぐみさんとダブル主催で海ゴミをジブンゴトとして考える仕組みづくりをテーマに多様な人とまじりあい、いろいろな形でビーチクリーンの輪、豊かな海を守るための意識が広がることを目指しています。

## ●巡りサイクル +α ビオトープ 三木里小学校裏庭再生プロジェクト

三木里は自然豊かな素晴らしい環境。地域の皆で管理しながら、自然環境の保全や復元、創造を目的に三木里小学校の裏庭にビオトープを作り、自然体験を通して訪れた人が遊んで学んで癒される場所を作る計画をしています。

## ●農ある暮らしイベント運営企画

三木里には海も山も川もそして畑もある素晴らしい環境。土に触れ野菜を通して三木里の自然環境を感じてもらえたらという思いから空き家バンクさんと移住者目線になって農ある交流会を企画運営しています。

畑を皆で管理しながら、農業や化学肥料を使わずに季節にあった野菜の栽培方法のコツを教えてもらったり、収穫したり。交流を兼ねた農業体験講習会です。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

三木里暮らし

@mikisato\_gurashi

アルドくんのビーチクリーン

@aldos\_beach\_clean



MIKISATO\_GURASHI



ALDOS\_BEACH\_CLEAN

## 基本情報

【年 齢】  
40歳  
【出身地】  
山口県  
【転出元】  
大阪府大阪市  
【前 職】  
—  
【活動時期】  
R6.6～R9.5



## 協力隊に応募したきっかけ

自分の発想やアイデアが地域おこしの力になるかもしれないプロジェクトに興味湧き、自然と海、キャンプ地として魅力あふれる岬町で活動してみたいと思いました。

## 今後の抱負・任期後の目標

動画編集が好きなので、SNSやYouTubeを利用して、岬町の魅力を特に若者に向けて発信したり、岬町でのイベント企画やMCとしての盛り上げにも力になれば幸いです。任期後も岬町に携わることができれば幸いです。

## 活動内容

### ●活動内容 1

町公式Instagram等において、町内外の方に向けて町の魅力を発信しています。



### ●活動内容 2

町内外の各種イベントへ参加し、町のPRを積極的に行っています。



### ●活動内容 3

町が作成する移住・定住促進PR番組に出演し、「岬暮らし」の良さを自身の体験を基にアピールしています。



## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス・個人) hijirifujimoto1350@gmail.com  
(電話番号) 072-492-2775  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】  
[https://www.instagram.com/osaka\\_misaki\\_official/](https://www.instagram.com/osaka_misaki_official/) (町公式Instagram)  
<http://www.town.misaki.osaka.jp/soshiki/matidukuri/kikaku/chiikiokosiugoki/5037.html> (地域おこし協力隊の動き)

## 基本情報



【年 齢】  
42歳  
【出身地】  
山口県山陽小野田市  
【転出元】  
東京都大田区  
【前 職】  
シンガーソングライター  
【活動時期】  
R6.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

高校卒業後に上京して音楽活動をしていたが、東日本大震災を経験し、考え方が大きく変わる。地元と何かでつながってほしいという思いから「スマイルプランナー」に登録。ふるさとの魅力を発信していくことにやりがいや楽しみを覚えるようになり、山陽小野田市の応援ソング「スマイルシティ」を制作、発表。こうした縁からふるさとへの恩返しとして地域おこし協力隊へ応募した。

※スマイルプランナー：自分らしく柔軟な発想で笑顔づくりの企画者・実践者

## 今後の抱負・任期後の目標

まだまだある「市の魅力」を発掘し、市のキャッチフレーズである「スマイルシティ」のとおり、笑顔あふれるまちおこしをしていきたい。

また、ラジオ番組と連携し、県外の方々にも遊びに来てもらえるようなイベント作りもしていきたい。

その一つとして、任期満了までに市の不二輸送機ホールでワンマンライブを開催したいと思う。

## 活動内容

## 観光振興

これまでの観光協会HP等でのイベント開催告知のみに留まるのではなく、より濃い内容となるよう細かな取材やこれまでとは異なる視点からの情報発信を心掛けている。

SNSでの動画「オレンジのガードレール」は再生回数27万回を数えた。



## FMラジオ等を活用した市の情報発信

雇用先のFMスマイルウェーブで市の情報発信をしている。ミキサー業務をしながらパーソナリティーも務めている。

山陽小野田市の魅力発信につながるテレビ取材等も積極的に受けている。



## 市の活性化及びPRに向けた提案と実践

市ではイメージカラー「オレンジ」と親和性が良く人気がある「ハロウィンイベント」を毎年開催しているが、イベントに苦慮しており新たな視点でのイベントが必要となっている。今年度は地域おこし協力隊員としてだけでなくシンガーソングライターとして自身が作成したテーマ曲を披露した。



## 連絡先

## 【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス(個人)) nishihiroshota@gmail.com

(電話番号(個人)) 080-4165-5821

## 【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

[https://www.instagram.com/sanyoonoda\\_kankoukyoukai/](https://www.instagram.com/sanyoonoda_kankoukyoukai/)

<https://www.facebook.com/sanyoonodatourismassociation>

## 基本情報



【年 齢】  
28歳  
【出身地】  
東京都練馬区  
【転出元】  
東京都練馬区  
【前 職】  
不動産営業  
【活動時期】  
R4.4～R7.3

## 協力隊に応募したきっかけ

東京出身ではありますが、大学進学時に北海道網走市の大学（海洋水産学専攻）へ進学したことで田舎暮らしの良さに気づきました。ただ、卒業後は社会人経験を積むために一度東京へ戻り就職しました。不動産ベンチャー企業で武者修行しながら、常に田舎暮らしについてのアンテナを高めていたところ、阿南市の地域おこし協力隊の情報を発見。もともと海が好きであったため、「阿南市をSUPで盛り上げる」というプロジェクトに興味を惹かれ、入隊を決断しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期中に築いた人間関係を活かし、任期終了後は下記3つの仕事を中心に、引き続き阿南で生活を継続したいと思っています。

- ①受け入れ団体での仕事を継続して引き受ける
  - ②地元企業にて週3日の正社員勤務
  - ③起業による築古再生賃貸事業
- 限られた時間で3つの仕事をバランスよくこなしていき、都会では実現できない自分だけの田舎での生活のしかたを見つけていきたいです。

## 活動内容

## ●豊かな自然環境を生かしたSUPスクールの実施

阿南市の豊かな海洋環境を観光にも活用できるようにSUP体験のできるカフェ（GOGOSUP&CAFE）を淡島海岸という場所で運営しています。近年SUPの認知度も上がってきていることもあり、県内だけでなく県外の様々な場所から年間400人前後のお客様にお越しいただいております。



## ●SUPレース大会を通じて県外に魅力発信

SUPには競技としての側面もあり、その競技人口も増えており、各地で大会が開催されております。阿南でも西日本選手権など日本SUP協会公認大会を4回開催し、全国のSUPファンの認知向上を高めております。世界チャンピオンをゲスト招待するなど国際的な交流も積極的に図っております。



## ●水辺の安全を守るライフセービング活動

水辺の楽しみ方を伝えるだけでなく、その危険性も同時に伝えることがSUPスクールの役割であるため、日本ライフセービングクラブの資格を取得しました。夏場の海水浴期間はホームビーチである淡島海岸でライフセービング活動を行い、海の事故の未然防止に取り組んでおります。



## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
メールアドレス（個人）8903rhcp@gmail.com  
電話番号（個人）080-3388-0360

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
GOGO SUP&CAFE Instagram